

医学教育分野別評価 金沢医科大学医学部医学科 年次報告書

2022 年度

医学教育分野別評価の受審 2018（平成 30）年度

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 ver2.2

本年時報告書における医学教育分野別評価基準日本版 ver2.34

本学医学部医学科は、2018 年に日本医学子教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2020 年 11 月 1 日より 7 年間の認定期間が開始した。

医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.34 を踏まえ、2022 年度の年次報告書を提出する。なお、本年時報告書に記載した教育活動は、日本医学教育機構の作成要項に則り、2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日を対象としている。また、重要な改定のあった項目を除き、医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.34 の転記は省略した。

領域：1. 使命と学修成果	項目：1.3 学習成果
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の適切な行動については、学則・行動規範等に記載しておくべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・指摘事項に対し議論を進めるよう、関係部署の責任者に対し依頼文を出すことを医学教育委員会にて決定した。その結果、医学教育センター長名にて学生部委員会委員長に対し、特に病院実習における医療従事者、患者、家族を尊重した適切な行動について、より具体的に学則・行動規範に記載するよう依頼文を送付した。 ・診療参加型臨床実習において、学生も病院職員と同様のマニュアル・行動規範を理解し、常に携帯できるよう金沢医科大学病院作成の「医療安全ハンドブック」を次年度に向けて増刷し、配布する学長決裁をとった。 ・医療安全ハンドブックには、患者さんの権利、臨床における倫理方針、病院における安全管理等、臨床現場における適切な行動を規定する内容が明記されている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度以降、第 4～6 学年臨床実習において「医療安全ハンドブック」を配布・説明し、学生も病院職員と同様のマニュアルを理解し、常に携帯することを求める。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 医学教育分野別評価に係る改善事項について（PDF データ） ・資料 2 令和 4 年度第 4～6 学年臨床実習に係る医療安全ハンドブックの印刷及び配布について（PDF データ） 	

領域：1. 使命と学修成果	項目：1.3 学習成果
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・学習成果を周知し、理解を求めるべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時に学生が身につけていること（学習成果）をディプロマ・ポリシーとして定め、ホームページ上で公開している。学生と教職員に対しては、各ユニットの授業内容とディプロマ・ポリシーの関係性を学習要項にて明示している。 ・卒業生の学修成果可視化の一環として、成績証明書の補足資料について近隣病院の関係者が集まる場においてアンケートを行い、その意見を参考に補足資料（案）を作成した。教務委員会にて審議の上、次年度以降の実施を決議した。 ・同様に、ディプロマ・ポリシーを提示し、その内容が適切であるか意見をいただいている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・内容について更に検討した上で、成績証明書の補足資料を配布予定である。補足資料にはディプロマ・ポリシーを明記し、卒業生の就職先等に対して本学の学修成果を周知し、理解を求める。 ・学術交流会や地域医療連携会議等、近隣病院の関係者が集まる場においてアンケート等を通し、ディプロマ・ポリシーを提示するとともに、意見をいただく取組を継続的に実施する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料3 本学ホームページ掲載画面（3つのポリシー）（PDFデータ） http://www.kanazawa-med.ac.jp/medicine/basic_policy.html ・資料4 学習要項「医療行動科学」「人の行動と心理」「医療プロフェッショナルリズム入門」2021年度（PDFデータ） ・資料5 令和3年度第9回教務委員会議事録（PDFデータ） 	

領域：1. 使命と学修成果	項目：1.4 使命と成果策定への参画
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・学習成果の策定において、市民、患者も含めたより広い範囲の教育の関係者からの意見を反映することが期待される。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲の教育の関係者として意見を求めるため、医学教育委員会規程を変更し、下記の者を委員として発令した。 <ul style="list-style-type: none"> 「研修医の代表者」（卒後医学教育関係者） 「地域住民・医療制度の利用者・患者」 「他の医療職」 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の規程変更によって学外の委員が増えた為、メールやZoomを活用した対面以外での開催形式を積極的に活用し、委員会へ参加しやすい環境づくりを進める。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料6 金沢医科大学医学教育委員会規程（PDFデータ） ・資料7 金沢医科大学医学教育委員会名簿（R3.10.1時点）（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.2 科学的方法
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・医学研究の手法を実践できる学修機会をすべての学生に提供すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・スチューデント・リサーチャー・プログラム制度を実施し、研究意欲の高い学生に対して各研究室での研究を支援している。プログラムの募集要領に「医局に出入りしている学生に限らず、当該プログラムの適正学年全体に対し募集する等、学生への周知を充分に行うこと」と明記し、広く学生に機会を提供できるよう配慮している。 ・本学医学研究科科目等履修生として、学部に在学しながら大学院の講義を受講する「研究医コース」を開設した。併せて、コース履修者を対象に奨学金制度を設け、制度を活用しやすい環境を整備している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・スチューデント・リサーチャー・プログラム制度の実績報告会を開催し、成果を共有するとともに、制度を学内に周知しより多くの学生に機会を提供する。 ・電子掲示や携帯ネットでの通知を通して、「研究医コース」を学生に周知し、制度の利用促進を図る。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料8 令和3年度金沢医科大学スチューデント・リサーチャー・プログラムの募集について（PDFデータ） ・資料9 大学院医学研究科「研究医コース」の案内について（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.2 科学的方法
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・分析的・批判的思考を涵養する学修機会を6年一貫教育の中で設けるべきである 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・指摘事項に対し議論を進めるよう、関係部署の責任者に対し依頼文を出すことを医学教育委員会にて決定した。その結果、医学教育センター長名にて一般教育機構長に対し、第1学年「クリティカル・シンキング」のユニット概要等に「分析的・批判的思考を涵養する」と明記することを依頼した。 ・一般教育機構にて検討の結果、令和4年度シラバスで文言を修正し、医学教育分野別評価での改善点に対応させることを決定した。 ・同様に、医学教育センター長名にて教務部長に対し、2年次以降の授業において「分析的・批判的思考を涵養する」学習機会を拡充することを依頼した。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度以降、第1学年「クリティカル・シンキング」のユニット概要等に「分析的・批判的思考を涵養する」と明記し、授業に含める。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 医学教育分野別評価に係る改善事項について（PDFデータ） ・資料10 令和3年度第9回人文系会議（初年次教育WG）議事録（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.4 行動科学と社会医学、 医療倫理学と医療法学
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習の現場で行動科学、医療倫理学の学修機会を設けるべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・診療参加型臨床実習において、学生も病院職員と同様のマニュアルを理解し、常に携帯できるよう金沢医科大学病院作成の「医療安全ハンドブック」を次年度に向けて増刷し、配布する学長決裁をとった。 ・医療安全ハンドブックには、患者さんの権利、臨床における倫理方針等、臨床現場において求められる医療倫理に関する内容が明記されている。 ・行動科学の専任教員を配し、「医療行動科学」、「人の行動と心理」、「医療プロフェッショナルリズム」の中で行動科学の教育プログラムを実施している。こられの科目の中で、患者 - 医師関係、チーム医療における職種間関係などを学修できる内容としている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度以降、第4～6学年臨床実習において「医療安全ハンドブック」を配布・説明し、学生も病院職員と同様のマニュアルを理解し、常に携帯することを求める。 ・令和4年度以降、医療従事者自身の心のセルフケアとして、「自己肯定感プログラム」を全学年に導入する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料2 令和4年度第4～6学年臨床実習に係る医療安全ハンドブックの印刷及び配布について（PDFデータ） ・資料4 学習要項「医療行動科学」「人の行動と心理」「医療プロフェッショナルリズム入門」2021年度（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.5 臨床医学と技能
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・重要な診療科での実習期間と内容を検討すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・共用試験（CBT・OSCE）実施時期を第4学年後期から第3学年後期に変更した。診療参加型臨床実習を1年早く実施することで、重要な診療科での学習時間を拡充する等、診療参加型臨床実習の充実を目的としたカリキュラム改革を進めている。 ・今回のカリキュラム改革に際しては、見学型臨床実習に対する学生アンケート結果や医療人教育カリキュラム評価委員会での審議を参考に、カリキュラム検討委員会とWG等で審議した。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年以降の臨床実習について、重要な診療科での学習時間拡充等を検討する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料11 令和3年度第1回カリキュラム検討委員会（臨床実習実施委員会合同）議事録（PDFデータ） ・資料12 カリキュラムツリー（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.7 プログラム管理
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに関わる各委員会に学生が実質的に参加すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会、医学教育委員会、医療人教育評価委員会（旧 医療人教育カリキュラム評価委員会）、カリキュラム検討委員会に学生代表が参加している。学生委員が発言した際は議事録で注記する等、議事録配布時にも学生からの意見が共有できるようにしている。 ・カリキュラム検討委員会規程（平成29年4月1日施行）と教務委員会規程（平成30年3月1日改正）に引き続き、医学教育委員会規程及び医療人教育評価委員会規程に学生を構成員として明記し、学生の参加を制度としても確立した。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の代表者が学生全体の意見を十分に反映できるよう、学生の意見収集のシステムについて検討を行う予定である。 ・学生委員が欠席した場合、特に学生の意見が必要とされる議題については意見を求める運用を検討する。 ・学生委員への通知は学生が認識しやすい形式（携帯ネット等）で行う等の配慮を求める。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料6 金沢医科大学医学教育委員会規程（PDFデータ） ・資料7 金沢医科大学医学教育委員会名簿（R3.10.1時点）（PDFデータ） ・資料13 金沢医科大学医療人評価委員会規程（PDFデータ） ・資料14 金沢医科大学医療人評価委員会名簿（R3.10.1時点）（PDFデータ） ・資料15 金沢医科大学医学部カリキュラム検討委員会規程（PDFデータ） ・資料16 金沢医科大学医学部カリキュラム検討委員会名簿（R3.4.1時点）（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.7 プログラム管理
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに関わる各委員会に、広い範囲の教育の関係者が実質的に参加することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲の教育の関係者から意見を求めるため、医学教育委員会の規程に下記構成員を追記し、委員として発令した。 <ul style="list-style-type: none"> 「研修医の代表者」（卒後医学教育関係者） 「地域住民・医療制度の利用者・患者」 「他の医療職」 ・同様に、医療人教育評価委員会の規程を整備し、下記要件を改めて構成員として明記し、委員として発令した。 <ul style="list-style-type: none"> 「研修医の代表者（卒後医学教育関係者）」 ・医療人教育評価委員会には、「地域住民・医療制度の利用者・患者」の学外委員2名、「他の医療職」の金沢医科大学病院看護部長が参加している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の規程変更によって学外の委員が増えた為、メールやZoomを活用した対面以外での開催形式を積極的に活用し、委員会へ参加しやすい環境づくりを進める。 ・医療人教育評価委員会規程に「地域住民・医療制度の利用者・患者」「他の医療職（又は看護部長）」を明記し、制度として参加体制を確立することを目指す。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料6 金沢医科大学医学教育委員会規程（PDFデータ） ・資料7 金沢医科大学医学教育委員会名簿（R3.10.1時点）（PDFデータ） ・資料13 金沢医科大学医療人評価委員会規程（PDFデータ） ・資料14 金沢医科大学医療人評価委員会名簿（R3.10.1時点）（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.8 臨床実践と医療制度の連携
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生が働く環境、地域や社会からの情報を得て、教育プログラムを改良することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和1年度卒業生の研修先にアンケートを実施し、本学卒業生の学修成果について集計・分析を行った。分析結果を基に、本学教育プログラムにおいて改善が求められる項目について医療人教育評価委員会にて審議し、金沢医科大学評価運営委員会に報告した。 ・同様に卒業生の研修先アンケートの項目や形式（記名式の是非等）について医療人教育評価委員会で審議し、次年度以降のアンケートに反映するよう担当部署と意見交換を行った（担当部署のIR室長が委員として参加）。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は令和2年度卒業生の研修先を対象にアンケートを実施する予定である。今後も、継続的に情報を収集し、教育改善の資料とする予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料17 令和3年度第2回金沢医科大学医療人教育評価委員会議事録（PDFデータ） ・資料18 令和3年度第3回金沢医科大学評価運営委員会議事録（PDFデータ） 	

領域：4. 学生	項目：4.1 入試方針と入学選抜
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・アドミッション・ポリシー（入学方針）を定期的に見直すことが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医学部入試制度検討委員会にて原案を作成し、医学部教授会、大学運営会議、常任役員会の審議を経て、アドミッション・ポリシー（入学方針）の見直しを行った。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・現状を継続するとともに、毎年度末の委員会にて定期的アドミッション・ポリシー（入学方針）の内容を見直し、必要があれば教授会、大学運営会議、常任役員会に上申し、改正する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 19 令和3年度第1回医学部入試制度検討委員会議事録 ・資料 20 第1144回医学部教授会議事録（抜粋） ・資料 21 第389回大学運営会議議事録（抜粋） ・資料 22 第403回常任役員会議事録（抜粋） 	

領域：4. 学生	項目：4.4 学生の参加
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する各種委員会に学生の代表が参加し、実質的に議論に加わるべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会、医学教育委員会、医療人教育評価委員会、カリキュラム検討委員会に学生代表が参加している。学生委員が発言した際は議事録で注記する等、議事録配布時にも学生からの意見が共有できる。 ・カリキュラム検討委員会（平成 29 年 4 月 1 日施行）と教務委員会（平成 30 年 3 月 1 日改正）に引き続き、医学教育委員会規程及び医療人教育評価委員会規程に学生を構成員として明記した。学生の委員会参加を求めることを明記し、制度としても確立した。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の代表者が学生全体の意見を十分に反映できるよう、学生の意見収集のシステムについて検討を行う予定である。 ・学生委員が欠席した場合、特に学生の意見が必要とされる議題については意見を求める運用を検討する。 ・学生委員への通知は学生が認識しやすい形式（携帯ネット等）で行う等の配慮を求める。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 6 金沢医科大学医学教育委員会規程（PDFデータ） ・資料 7 金沢医科大学医学教育委員会名簿（R3.10.1時点）（PDFデータ） ・資料 13 金沢医科大学医療人評価委員会規程（PDFデータ） ・資料 14 金沢医科大学医療人評価委員会名簿（R3.10.1時点）（PDFデータ） ・資料 15 金沢医科大学医学部カリキュラム検討委員会規程（PDFデータ） ・資料 16 金沢医科大学医学部カリキュラム検討委員会名簿（R3.4.1時点）（PDFデータ） 	

領域：5. 教員	項目：5.2 教員の活動と能力開発
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の教員はカリキュラム全体を十分に理解し、教育を実践すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・3つのポリシーと成績評価・進級判定、各科目の詳細を電子シラバスに掲載している。また、科目ナンバリングやカリキュラムツリーによる教育課程の可視化に取り組み、それら全てを大学ホームページにて公開している。非常勤講師含む全教員が閲覧可能。 ・指導教員、臨床教育担当教員を対象とした指導教員会議において、教務部長が新カリキュラムについて説明した。同会議の内容はビデオ・オン・デマンドに掲載し、会議に参加できなかった全専任教員を対象としたFDも実施した。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後もカリキュラムに関する理解を深めるFDを実施予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 23 本学ホームページ掲載画面（電子シラバス、カリキュラムツリー） http://www.kanazawa-med.ac.jp/other/information.html http://www.kanazawa-med.ac.jp/access-info/e-syllabus_web/e-syllabus.html http://www.kanazawa-med.ac.jp/medicine/curriculum.html ・資料 12 カリキュラムツリー（PDFデータ） ・資料 24 令和3年度指導教員会議（FD）の開催に伴うVOD閲覧要請について（PDFデータ） ・資料 25 本学イントラネット掲載画面（指導教員会議）（PDFデータ） http://www.kanazawa-med.ac.jp/live/vodlist/vodlist-n.html ・資料 26 令和3年度指導教員会議資料（ハンドアウト）（PDFデータ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.1 プログラムのモニタと評価
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム全体の評価体制は導入されたばかりであり、早急に教育プログラムのモニタを開始すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・大学評価情報室（IR 室）と教学課で連携し、様々な情報を収集・分析している。 ・上記分析結果も資料として活用し、入試制度、3つのポリシー、カリキュラムツリー、広い範囲の教育関係者からのフィードバック、卒業生アンケート、卒業生就職先アンケート等の幅広い観点から、教育プログラム全体を医療人教育評価委員会で評価している。 ・医療人教育評価委員会の規程を整備し、委員会の役割を明確化し、外部委員を含む多様な委員によって多角的な評価を行える体制を制度面からも整えている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の規程変更によって学外の委員が増えた為、メールや Zoom を活用した対面以外での開催形式を積極的に活用し、委員会へ参加しやすい環境づくりを進める。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 17 令和3年度第2回金沢医科大学医療人教育評価委員会議事録（PDFデータ） ・資料 13 金沢医科大学医療人教育評価委員会規程（PDFデータ） ・資料 14 金沢医科大学医療人教育評価委員会名簿（R3.10.1時点）（PDFデータ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.1 プログラムのモニタと評価
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・大学評価情報室は、計画的で継続的な情報の収集を行い、カリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩、課題の特定と対応について、分析を行うべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、大学評価情報室（IR 室）から学内各部署に依頼し、学業成績や授業評価結果等の教育関連データを蓄積し、分析している。 ・継続的な情報収集と分析体制の構築に向けて、令和 4 年度大学部門の重点事業として「IR 分析能力向上のためのデータベース構築と分析（BI）ツールの導入」を計画した。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・学内各部署から収集した学業成績や授業評価結果等の教育関連データを、IR 室専用サーバーに集積・管理してデータベースを構築する。 ・集積したデータを分析・可視化する BI ツールとして Tableau（タブロー）を導入して分析能力の向上を図る。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 27 令和 3 年度データ提供依頼書（PDF データ） ・資料 28 令和 4 年度事業計画書（抜粋：IR 分析能力向上）（PDF データ） ・資料 29 令和 4 年度予算計画書（抜粋：IR 分析能力向上）（PDF データ） ・資料 30 2019-2020 年度学生アンケート授業評価×ユニット別 GP 平均（医学部 1～4 年）（PDF データ） ・資料 31 2018-2020 年度学生アンケート医学部第 5 学年臨床実習達成度評価（PDF データ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.2 教員と学生からのフィードバック
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・教員と学生からのフィードバックを系統的に集め、分析し対応する体制を構築すべきである。 	
現在の状況	
<p>【学生からのフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年ユニット毎の教員評価アンケートおよび学年末の学生アンケートを収集しており、その結果を集計し冊子にまとめている。アンケートの内容は教務委員会にて定期的に見直しをしている。 ・学生アンケートにおける第1～4学年のユニット別授業評価や第5学年の臨床実習達成度評価について、大学評価情報室（IR室）にて分析し、分析結果を教育改善のため関連会議・委員会に提供している。 ・カリキュラムの変更等、個別の案件については学年代表を通して学生アンケートを随時とり、学年代表、医学部長、教務部長、学年主任（副主任）等で協議する体制をとっている。 ・第1学年では、Google フォームを活用し毎週アンケートを行っている。継続的かつ効率的に情報を収集し、必要に応じて第1学年担当教員で情報を共有できる体制を構築している。 <p>【教員からのフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学生の不適切と考えられる態度・行為に関する報告」（アンプロ報告）を収集し、指導体制にフィードバックしている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生アンケートにおける授業評価や臨床実習達成度評価等について、大学評価情報室（IR室）で継続して分析を実施する。 ・第1学年のGoogle フォームを活用したアンケートについて、第2学年以降に対しても参考事例として共有できる機会（FDを想定）を設ける予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料30 2019-2020年度学生アンケート授業評価×ユニット別GP平均（医学部1～4年）（PDFデータ） ・資料31 2018-2020年度学生アンケート医学部第5学年臨床実習達成度評価（PDFデータ） ・資料32 令和3年度第6回教務委員会議事録（PDFデータ） ・資料33 令和3年度コミュニケーションシート（PDFデータ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.3 学生と卒業生の実績
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・大学評価情報室で学生と卒業生の学修データを継続的に収集し、分析を行うべきである。 	
現在の状況	
<p>【学生の学修データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、大学評価情報室（IR 室）から学内各部署に依頼し、学生の各種成績データ等を収集して、蓄積・分析している。 ・学生成績 GPA、ユニット別 GP、学生アンケートにおける授業評価結果等の分析を実施した。 <p>【卒業生の学修データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学評価情報室（IR 室）で個人認証可能な QR コードのアンケートシステムを開発し、QR コードよりスマートフォンから回答できる方法で、卒業生（研修医 2 年目）に対して卒前教育等についてのアンケート調査を実施した。 ・卒業生（研修医 2 年目）の就職先（研修病院）に対して、紙媒体でアンケート調査を実施した。臨床研修到達目標のうち医学部のディプロマポリシーに関連する能力や資質の達成度評価を依頼し、卒前教育の学修成果を確認した。 ・卒業生アンケートと就職先アンケートの結果は、大学評価情報室（IR 室）で分析して関連委員会に報告し共有するとともに公表している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・大学評価情報室（IR 室）で、学生の各種成績データの収集・蓄積・分析を継続して実施する。また、卒業生アンケートおよび就職先アンケートも継続して実施し、分析結果を教育の質向上等に活用する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 23 本学ホームページ掲載画面（電子シラバス、カリキュラムツリー） （PDF データ） http://www.kanazawa-med.ac.jp/other/information.html ・資料 34 医学部卒業生アンケート調査 依頼文・調査票（PDF データ） ・資料 35 医学部卒業生アンケート集計結果（PDF データ） https://www.kanazawa-med.ac.jp/other/pdf/R3medicine_graduate.pdf ・資料 36 医学部卒業生就職先アンケート調査 依頼文・調査票（PDF データ） ・資料 37 医学部卒業生就職先アンケート集計結果（PDF データ） https://www.kanazawa-med.ac.jp/other/pdf/R3medicine_work.pdf 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.4 教育の関係者の関与
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・主な教育の関係者を含んだ関係委員会や部署において、プログラムのモニタと評価を実質化すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・主な教育の関係者から意見を求めるため、医療人教育評価委員会の規程を整備し、下記要件を改めて構成員として明記し、委員として発令した。 「学長」「学部長」「教授」「理事」「評議員」「カリキュラム委員」 「学生代表」「関連省庁」 ・医療人教育評価委員会の審議結果は、大学評価運営委員会等の関連委員会にて共有される。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の規程変更によって学外の委員が増えた為、メールやZoomを活用した対面以外での開催形式を積極的に活用し、委員会へ参加しやすい環境づくりを進める。 ・「理事長」は医療人教育評価委員としては発令せず、上位の委員会での審議・決裁等を通してプログラム評価に関与する体制を模索する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料13 金沢医科大学医療人教育評価委員会規程（PDFデータ） ・資料14 金沢医科大学医療人教育評価委員会名簿（R3.10.1時点） （PDFデータ） ・資料18 令和3年度第3回金沢医科大学評価運営委員会議事録（PDFデータ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.4 教育の関係者の関与
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムや卒業生の実績について、地域住民や行政機関など他の関連する教育の関係者のフィードバックを求めることが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より本学附属病院主催の地域医療懇談会（地元医療関係者との懇談会）及び金沢医科大学病院連携病院会議（北陸3県にある連携病院との懇談会）等にて本学の教育体制に関するアンケートを行っている。 ・上記アンケート結果は医療人教育評価委員会にて報告され、プログラムの評価に活用されている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療人教育評価委員会等の学外委員として、地域住民や行政機関の関連する教育の関係者が発令されているので、各種委員会を通して積極的に意見をいただく。 ・より幅広い関係者からフィードバックを求め、多角的な視点からプログラムを評価できる体制を整えていく。 ・卒業生の保護者に対してアンケートを実施し、フィードバックを求める。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料17 令和3年度第2回金沢医科大学医療人教育評価委員会議事録（PDFデータ） 	

領域：9. 継続的改良	項目：
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・設置された大学評価情報室、医療人教育評価委員会（旧 医療人教育カリキュラム評価委員会）の活動をさらに推進させ、教育プログラムの継続的改良を行うべきである。 	
現在の状況	
<p>【大学評価情報室（IR室）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、大学評価情報室（IR室）から学内各部署に依頼し、学業成績や授業評価結果等の教育関連データを蓄積し、分析している。 ・継続的な情報収集と分析体制の構築に向けて、令和4年度大学部門の重点事業として「IR分析能力向上のためのデータベース構築と分析（BI）ツールの導入」を計画した。 <p>【医療人教育評価委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記分析結果も含め、入試制度、3つのポリシー、カリキュラムツリー、広い範囲の教育関係者からのフィードバック、卒業生アンケート、卒業生就職先アンケート等の幅広い観点から教育プログラム全体を把握し評価している。 ・医療人教育評価委員会の規程を整備し、委員会の役割を明確化し、外部委員を含む多様な委員によって多角的な評価を行える体制を整えた。 	
今後の計画	
<p>【大学評価情報室（IR室）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内各部署から収集した学業成績や授業評価結果等の教育関連データを、IR室専用サーバーに集積・管理してデータベースを構築する。 ・集積したデータを分析・可視化するBIツールとしてTableau（タブロー）を導入して分析能力の向上を図る。 <p>【医療人教育評価委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の規程変更によって学外の委員が増えた為、メールやZoomを活用した対面以外での開催形式を積極的に活用し、委員会へ参加しやすい環境づくりを進める。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 27 令和3年度データ提供依頼書（PDFデータ） ・資料 28 令和4年度事業計画書（抜粋：IR分析能力向上）（PDFデータ） ・資料 29 令和4年度予算計画書（抜粋：IR分析能力向上）（PDFデータ） ・資料 30 2019-2020年度学生アンケート授業評価×ユニット別GP平均（医学部1～4年）（PDFデータ） ・資料 31 2018-2020年度学生アンケート医学部第5学年臨床実習達成度評価（PDFデータ） 	